

平成29年度大学等におけるインターンシップの実施状況に関する調査 Q & A

Q 1 本調査において「インターンシップ」とは何を指すのか。どこまで調査対象に含めばいいか。

A 1 「インターンシップの推進に当たっての基本的考え方」(文部科学省・経済産業省・厚生労働省)において、インターンシップとは「学生が在学中に自らの専攻、将来のキャリアに関連した就業体験を行うこと」と定義しているのので、本定義に従うこととします。よって、実態が就業体験を伴わないもの、企業説明会に終始しているもの等は調査から除外してください。

また、学生の受入れにあたり、学校が窓口となって組織(キャリアセンター・就職支援担当課等)としてインターンシップを紹介、あっせんするなど、大学等を通じて対応しているもの(学生の参加状況を大学等が把握、関与しているもの)を対象とし、大学等の掲示板や企業のHP等から、学生が各自で企業に連絡を取って申し込むようなものは対象としません。

Q 2 「D 学部名/研究科名」、「E 学科名/専攻名」欄について。特定の学部学科ではなく全学共通科目としてインターンシップを実施している場合はどのように記入すればよいか。

A 2 特定の学部学科名を記入するのではなく、「全学共通科目」等と記入してください。

Q 3 「G 単位数」について。一つの科目でも、実習内容や実習期間により、取得する単位数が異なる場合があるが、その場合はどのように記入すればよいか。

A 3 一つの授業科目内で単位数が異なる場合は、単位数ごとに行を分けて記入してください。

Q 4 「H 資格取得」欄について。「特定の資格取得に係る場合」とはどのような場合を指すのか。

A 4 実施しているインターンシップが、特定の資格(例:教員免許、学芸員、看護師免許、医師免許など)を取得するために必修とされている現場実習(例:教育実習、博物館実習、看護実習、臨床実習など)である場合を指します。

Q 5 この調査で対象としている「特定の資格」とは、国家資格のことを指すのか。

A 5 国家資格、民間資格の別を問いません。

Q 6 資格の数は非常に多いことから、カリキュラム上で設定している授業科目が、学校では想定していない他の資格取得のための必須条件となっている可能性もある。どこまで把握して回答すればよいか。

A 6 本調査の回答のために新たに調べていただく必要はありません。学校として設定している各種カリキュラムにより取得できる「特定の資格」を確認したうえで、その資格取得のために必要な授業科目であるものについて回答してください。

(具体例：教員免許取得のためのカリキュラムを設定し、教育実習等必要な授業科目について回答。カリキュラム内の別の授業科目が外国等において他の資格取得のための必須条件であっても対象とはしない。)

Q 7 本学では建学の精神として、学部を問わず介護実習（内容は介護福祉士の資格取得のために必要なものと同程度）を必修としている。カリキュラム上、同資格を取得できない文学部の学生であっても「特定の資格取得に関係する場合」と判断し、「H 資格取得」の項目を「○」としてよいか。

A 7 分類されません。学部・学科等においてカリキュラム上「特定の資格」の取得のために位置付けられて実施する実習のみが「特定の資格取得に関係」の対象となります。

Q 8 「I 必修選択」欄について。カリキュラム上は必修科目ではないが、特定の資格の取得をめざす学生にとっては必須となる科目はどう回答すればよいか。(例：理学部における教育実習)

A 8 当該学部等を卒業するにあたり、必須とされる科目か否かを確認する項目なので、「選択」と回答してください（記入例もご参照ください）。

Q 9 カリキュラム改正により新カリキュラムと旧カリキュラムが並行し、学年により必修・選択の取扱いが異なる場合は、必修選択の区分についてはどちらで考えるべきか。

A 9 新カリキュラムで記入してください。

Q 10 「J 国内・海外」欄について。一つの授業科目で国内と海外の両方でインターンシップを実施した場合はどのように記載すればよいか。

A 10 該当する科目の欄を二つ作成し、「J 国内・海外」欄で分類し、国内と海外の参加者数をそれぞれ記入してください。

Q 11 「K 学年等別参加学生数（人）」欄について。留年生はどうすべきか。

A 11 学籍管理上の学年で記入してください。

Q 12 インターンシップ科目を日本人学生と外国人留学生の両方が履修した場合は、どのように記載すればよいか。

A 12 日本人学生は学年等毎に参加人数を記入し、外国人留学生は「留学生（学年不問）」欄に総数を記入してください。

Q 13 本学では、学生が企業のHP等から各自で申し込んだうえで参加したインターンシップについて、必要な要件を満たしていれば事後的に実習内容を評価し、単位認定を行っている。この場合は本調査の対象となるか。

A 1 3 実習内容を評価するという形で大学としてインターンシップに関与しているので調査対象となります。

Q 1 4 A学科が実施しているインターンシップにB学科の学生が参加している場合、参加学生数はどのように記載すればよいか。

A 1 4 授業科目単位で参加者数を計上するため、B学科から参加している学生も含めた人数を記入してください。

Q 1 5 3年次、4年次と連続してインターンシップに参加することで4年次に単位を付与している科目があるが、学生数についてどのように記入すればよいか。

A 1 5 4年次に要件を満たし単位が付与された学生について記入してください。

Q 1 6 平成29年3月（平成28年度）にインターンシップを実施したが、実際に単位付与するのは翌年度（平成29年度）となる場合、今回の調査の対象となるか。

A 1 6 平成29年度内に単位付与を行った学生数でカウントしてください。

Q 1 7 同一の学生が複数の科目においてインターンシップに参加している場合、両科目ともに計上することでよいか。

A 1 7 両科目に計上してください。

Q 1 8 「M 実習期間」について。平成27年8月17日（月）から8月28日（金）までの2週間（土日を1回はさんだ平日10日間）参加した場合については、「1週間～2週間未満」、「2週間～3週間未満」のどちらで回答すればよいか。

A 1 8 あくまで実習に参加した「期間」でとらえ、実習期間は「2週間」と考えますが、実際に参加した日数は10日間なので「1週間～2週間未満」で回答してください。

Q 1 9 「P 報酬」欄について。受入れ先から学生に支払いがあったかは学生に確認しないと分からない。昨年度インターンシップに参加した学生全員に調査をしなければならないのか。

A 1 9 本調査の時点で大学が把握している範囲で回答してください（本調査に回答するために、新たに学生への聞き取り等の調査をしていただく必要はありません）。

Q 2 0 「Q 在学中にインターンシップに参加した学生数」について、学生がどのような科目を履修してきたかを確認していくことになるが、必ずしも科目名だけはインターンシップを実施したかどうかを確認できないがどうしたらよいか。

A 2 0 本調査の時点で大学等が把握している範囲で回答してください。

Q 2 1 何のために新たに本項目を調査するのか。

A 2 1 これまでの調査では、当該年度にインターンシップを実施した学生数しか把握できませんでした。（仮に前年度にインターンシップを実施したが、当該年度にインターンシップを実施しなかった学生は捕捉することができませんでした。）そこで、より正確に実態を把握し、今後のインターンシップの企画・立案に資するため、新たに調査項目を設けました。

Q 2 2 大学等を合併し、現在学年進行中もしくは昨年度をもって合併前の大学等がなくなった場合はどう回答すればよいか。

A 2 2 合併後の大学等において、①合併後の大学等の実績、②合併前の大学等の実績をそれぞれ回答してください。

Q 2 3 大学を新たに設置し、その際に既存の短期大学を募集停止にして、現在学年進行中の場合はどうすればよいか。

A 2 3 大学、短期大学それぞれの学生の在籍している学年のみを回答してください。

Q 2 4 法人（学校法人や公立大学法人）として複数の大学・短大を設置しているので、法人の事務局がいったん回答をとりまとめ、まとめて回答してもよいか。

A 2 4 結構です。ただし、回答する際は、学校ごとに別ファイルにより提出してください。